

平成28年 イタイイタイ病資料館

資料館での平成28年の主な出来事について振り返ってみました。

◆平成28年2月

13日 『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』の開催

フォーラムでは、高岡市立博労小学校、富山市立鶺坂小学校、富山市立三成中学校、富山国際大学現代社会学部環境デザイン専攻の皆さんに、手作りの壁新聞や映像などを使って学習成果を発表していただきました。

◆平成28年4月

26日 春の特別企画展『イタイイタイ病弁護団の軌跡』

<写真展（～5月5日）>

2階交流学習ルームにおいて、被害克服に向けた住民の活動を支援してきた弁護団の裁判当時の写真52枚をパネルで紹介しました。

27日 『留学生のためのイタイイタイ病講座』の開催

県内の留学生の方を対象に、一般県民の方も入っていただける形で、館長がイタイイタイ病の歴史について英語で解説した後、英語の通訳を付けた語り部講話を行いました。

29日 春の特別企画展『イタイイタイ病弁護団の軌跡』

<対談「イタイイタイ病弁護団の活動を振り返って」>

被害者の方々を支援してこられたイタイイタイ病弁護団の朝倉正幸団長と当時弁護団で活動されていた松波淳一氏による対談を行い、弁護団結成当時の状況や裁判の歴史等について語っていただきました。



留学生のためのイタイイタイ病講座
(高木良信氏による語り部講話の様子)



春の特別企画展（対談）

◆平成 28 年 5 月

3 日 春の特別企画展『イタイイタイ病弁護団の軌跡』

< 講演「イタイイタイ病と公害報道」 >

NHK 富山放送局のプロデューサーとしてイタイイタイ病裁判について取材されていた奥田一重氏に、裁判当時の状況や思い出等について語っていただきました。

16 日 G7 環境大臣会合で来県された各国大臣が資料館を視察

G7 環境大臣会合の環境省主催エクスカージョンで、各国の大臣らに資料館をご視察いただきました。

視察を終えられた大臣らは、イタイイタイ病の悲惨な実態や公害克服の歩みに理解を深められていたようでした。

また、見送りに訪れた資料館の語り部の方に、ねぎらいの言葉を掛けていただきました。



G7 環境大臣会合で来県された閣僚らが資料館を視察

◆平成 28 年 7 月

29・30 日『夏休み自由研究講座～イタイイタイ病を学ぼう～』の開催

小学校高学年を対象にした、語り部の方に当時のことを細かくお話していただきながらイタイイタイ病を親子で学ぶ講座を開催しました。

◆平成 28 年 8 月

5 日 『イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー』の実施

小学校高学年を対象にした、カドミウム復元田や神岡鉱業の工場の中を親子で見学するバスツアーを実施しました。



夏休み自由研究講座



日帰りバスツアー

18日 『イタイイタイ病資料館活用研修会』の開催

資料館を社会科の授業や総合的な学習の時間等で、有効活用していただくための小・中学校の教員向けの研修会を開催しました、

20・24・27日 『読み聞かせの会』の開催



今年は、資料館の解説ボランティアが「骨を喰う川(毎日新聞社編)」を朗読し、当時の患者の思いや苦しみ、関係者の苦労の様子などを参加者に伝えました。

◆平成 28 年 10 月

1日 『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』の開催

水俣市立水俣病資料館、新潟県立環境と人間のふれあい館、四日市公害と環境未来館とイタイイタイ病資料館の4館の語り部の方の講話が一度に聴講できる伝承会を開催しました。



◆平成 28 年 11 月

21日 富山県立イタイイタイ病資料館運営会議の開催

資料館の運営を円滑かつ効果的に進められるよう、学識経験者や関係団体の代表、学校教育関係者などで構成する資料館運営会議を開催しました。

会議では、平成 28 年度の各事業の実施状況や資料館の入館者状況などについて説明を行いました。

委員からは、高校生や企業の方の来館をもっと促してみてはどうかという意見などが出されました。